

健康食品新聞

# 引合い活発化する「AC-11」

## DNA修復作用で拡販進む

ニュートリション・アクト

ニュートリション・アクト(東京都港区、03・5475・7313)は、昨年9月から南米産キャットクロー樹皮の水抽出物である機能性素材「AC-11」を展開しており、最近になって引合いが活発化している。これはAC-11が日経ヘルス誌の「2007ヒット予測ランキング」(06年12月号)の17位として取り上げられたことが大きな要因。DNAを修復するアンチエイジング素材として注目され、健康方面だけでなく化粧品分野にも好調である。同社ではDNAを保護する酸化機能を持った「メロングリンティン」との相乗効果も期待できることから、この2つの組み合わせを健康食品分野のほか、一般食品分野にも拡販を進めていく計画だ。

AC-11は、キャットクロー樹皮に含まれるカールキシルアルキルエステル(CAES)が有効成分で、8%の規格値を設定している。アルカロイド・タンニン含有してない。もともとAC-11はスウェーデン・LUND大学の細胞・分子生物学の元教授(現在名誉教授)であるペロ博士が自身の研究成果によって見出した機能性成分。機能

性としては、①DNA修復促進機能の免疫賦活用②アポトーシス調節機能(腫瘍細胞抑制効果)③抗炎症作用などが挙げられている。AC-11は酸化機能素材とメカニズムが違っており、年齢とともに衰えるDNAの修復を助ける機能を保持している。このことから、酸化素材との併用で、より効果的になることが、同社独自素材の「メ

ロングリンティン」やコエンザイムQ10、白金チノコライドなどの相乗効果が期待できる。「メロングリンティン」については、ウォーキングやランニングといった有酸素運動による酸化ストレスを軽減する効果がある。また、メロングリンティンが体内の酸化ストレスを軽減し、DNA損傷を抑制することで、DNA損傷をAC-11が対応してDNA修復酵素を活性化することで、大きな相乗効果が得られるとして、健康食品分野のほかに、一般食品にも積極的に市場開拓していく。キャンディやガム

メロングリンティンを摂取することによって体内のSODを増やすことができる。結果的にSODがパワーアップし、美容・生活習慣病対策、活性酸素対策、ストレス対策など幅広い機能を発揮するものと考えられている。フランスではパリ大学等で、様々な機能研究を実施されている。同社では、メロングリンティンが体内の酸化ストレスを軽減し、DNA損傷を抑制することで、DNA損傷をAC-11が対応してDNA修復酵素を活性化することで、大きな相乗効果が得られるとして、健康食品分野のほかに、一般食品にも積極的に市場開拓していく。キャンディやガム

飲料などに投入していきたい考えた。1日の摂取目安量は単品でAC-11が通常2500〜3500mg、メロングリンティン500mgであるが、2つを組み合わせれば、これらの量の半分でも機能発現の効果が期待できるとしている。さらに同社は、AC-11によってDNA修復作用という新しいカテゴリーを今後構築

していく方針。米国では多くのAC-11配合のサプリメントや化粧品が販売されており、すでにDNA修復促進物質としてFDAでFDAを認められたアンチエイジング素材となっている。AC-11の輸入元は伊藤忠商事、総販売元がニュートリション・アクトとなっている。